

2021年2月3日(水)

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

【テーマ】「王への言葉」

【聖書のみ言葉】箴言31:1-9を読みましょう。

31章はレムエル王が母から受けたいましめの言葉が記されています(1)。その内容は、「王への言葉」(1-9)と「妻について」(10-31)です。今朝は「王への言葉」を学びます。

【解説】

私の子よ、母の言葉に耳を傾けなさい(2)。

- ① 国を滅ぼすような女性たちに対して、自分を制しなさい(3)。国を守るために。\*ここでの「女性たち」は、結婚の枠組みの外での性的関係や多妻などを表しているのでしょう。そのような快楽に執着して、時間や力、お金などを費やすことは、本来なすべき働きから王を迷わせ、知恵ある判断を鈍らせ、国益を損なわせ、王と国を強くするのではなく、弱めてしまう。
- ② 強いお酒に対しても、自分を制しなさい(4-7)。苦しみ、痛んでいる者たちを守るために、強い酒に酔ってはならない(4-5)。むしろ、彼らが自分たちの労苦を忘れるために、強い酒を彼らに与えなさい(6-7)。\*貧しさの中で苦しむ人を泥酔させることは、知恵とは全く言えず、4-5節の教えとも矛盾するので、皮肉としての表現と言える。悲しみを泥酔で紛らわすことは、何の解決にもならない。
- ③ むしろ、苦しみ、傷んでいるすべての者たちのために、正しい裁きを行いなさい(8-9)。\*「口のきけない人」は、文字通りには「唇をしっかりと閉じる人」であり、裁判において王が弁護してくれなければ、自分たちでは弁護できない人のこと。社会的に力のない人たちを守ってあげる王となりなさい。

【適用】

私たちが様々な快楽や泥酔の誘惑に溢れている社会に生きています。それらに陥るならば、主から与えられている働きから私たちを迷わせ、知恵ある判断を鈍らせ、自分や家族、教会を強めるのではなく、弱めてしまうでしょう。それらは現在直面する問題や課題に、何の解決ももたらさないのです。むしろ、私たちは、人々のために主の働きにいそむことができるように主に守って頂きましょう。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう(主に、週報から)。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。 \* 皆さんに共に祈ってほしいということが何かありましたら、牧師までご一報ください。

ありがとうございました！また次週の祈禱会に配信します！

百合丘キリスト教会

川井信雄

(「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にもCCして頂ければ感謝です。)